

野沢温泉村立学校の教育職員に関する 業務量管理・健康確保措置実施計画

目 次

1	計画の趣旨・現状・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2	目標・・・・・・・・・・・・・・・・	3
3	計画の期間・・・・・・・・・・・・・・・・	3
4	実施する業務量管理・健康確保措置の内容・・・・・・・・	3
5	関連する取組、今後のフォローアップについて・・・・・・・・	5

令和8年4月

野沢温泉村教育委員会

1 計画の趣旨・現状

(1) 計画の趣旨

本計画は、教育職員の勤務状況を改善し、健康な状態で、自らも学ぶ時間を確保しながら、専門性を最大限に発揮して、生き活きと児童生徒の教育に邁進できるようにすることにより、教育職員の働きやすさと働きがいと両立し、学習指導要領等において目指されてる理念の実現に向けてよりよい教育を行うため、地方公務員法（昭和25年法律第261号）、公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法（昭和46年法律第77号）、及び公立学校の教育職員の業務量の適切な管理その他教育職員のサービスを監督する教育委員会が教育職員の健康及び福祉の確保を図るために講ずべき措置に関する指針（令和7年文部科学省告示第114号）に基づき策定する。

本村の幼保小中一貫教育・高校連携教育の教育目標である「ふるさと野沢温泉村を心に刻み、心を世界に拓き、心豊かな人間性を育む教育」を実践し、自分の学びを自己調整する自律的な学習者を育てるためには、教育職員一人ひとりが心身の健康を保ちながら、生き生きとやりがいを感じて豊かな教職生活を送り、学校内外での学びを通じて教育職員としての専門性や創造性を高め、質の高い教育を実現することが重要であり、そのための環境整備が不可欠である。

このため、保護者や地域の理解と協力を得ながら、学校や教育職員が担う業務の見直しと適正化を図り、子どもと向き合う時間や授業の質を高める時間を創出することで教育職員のウェルビーイングを確保し、次代を担う子どもたちの豊かな育ちと学びの充実を目指していく。

(2) 現状

本村では、令和5年4月24日に「学校職員の勤務時間等に関する規程」の一部を改正し、所管に属する学校の教育職員の時間外在校等時間の上限を1か月45時間、1年360時間と定め、教育職員の超過勤務の縮減と子どもと向き合う時間の確保を目指して取り組んできた。

こうした取組の結果、本村における教育職員の時間外在校等時間の状況について、令和6年度は以下のとおりであった。

【令和6年度の時間外在校等時間の状況】

区分	年平均	月45時間を上回る割合	月80時間を上回る割合
小学校	月43.4時間	34.6%	7.7%
中学校	月29.5時間	20.4%	0.0%

時間外在校等時間が月45時間を超える割合は、小学校が34.6%、中学校が20.4%であった。

教育職員の業務は、授業準備に加え、各種報告書の作成や校務分掌による業務、部活動指導等により、日常的に業務の負担が大きくなっているため、人的措置の拡充や部活動の地域展開等を行うことにより、教育の質の向上のために必要な時間的余裕を創出することが必要である。

2 目標

(1) 時間外在校等時間に関する目標

- ア 1箇月時間外在校等時間が45時間以下の割合を100%にする。
- イ 1年間における1箇月時間外在校等時間の平均時間を30時間程度にする。

(2) ワーク・ライフ・バランスや働きがい等に関する目標

【カッコ内は令和6年度の数値】

- ア 年間の年次休暇の平均取得日数を18日以上にする。【R6:16.9日】
- イ ストレスチェックにおける高ストレス者の割合を5%以下に減少させる。
【R6:9.4%】
- ウ ストレスチェックにおける仕事や生活の満足度の値を60%以上にする。
【R6:56.2%】
- エ ストレスチェックにおける健康リスクの値を65以下にする。(全国平均100)
【R6:69.9】

3 計画の期間

令和8年度～令和11年度

4 実施する業務量管理・健康確保措置の内容

(1) 「業務の3分類」を踏まえた業務の見直し

ア 学校以外が担うべき業務

- ・登下校時の通学路における日常的な見守り活動について、学園地域支援センター等を通じて、保護者、地域住民による通学路の見守り活動を推進する。
- ・学園地域支援センターにコーディネーターを配置し、地域ボランティアの募集・登録・連絡調整や学校・地域協働活動を支援する。
- ・保護者等から過剰な苦情や不当な要求等に対して、法的な側面から指導・助言を行い、学校の問題解決を支援するスクールロイヤーや顧問弁護士の活用を図る。
- ・学校徴収金の徴収・管理について、既に公会計化している学校給食費を除き、徴収金業務の標準化や集金業務の一元化ができるシステムの導入を検討する。

イ 教師以外が積極的に参画すべき業務

- ・学校に依頼する調査・通知等は、内容を精査し調査方法の簡素化・合理化を図る。
- ・ICT機器・ネットワーク設備の日常的な保守・管理は、業者による保守点検委託を継続しながら、今後も学校の負担を可能な限り軽減できるよう、必要に応じて外部委託する保守・管理、作業等の追加を検討する。
- ・学校体育館の地域開放における利用手続きや鍵の受け渡しは、引き続き教育委員会が行う。
- ・中学校部活動については、長野県地域クラブ活動推進ガイドライン及び岳北4市村連携部活動地域展開ガイドラインに基づき、みゆき野ジュニアクラブに所属する実施主体の休日部活動を令和8年度中に地域展開し、平日部活動も準備ができたものから地域展開する。

ウ 教師の業務だが、負担軽減を促進すべき業務

- ・授業準備や採点作業等を補助する教員業務支援員を全校に配置する。
- ・村費専科教員を配置し、受け持ち授業時数の軽減を図る。
- ・業務のICT化を進め、校務支援システムや自動採点システムを活用することにより、採点作業や学習評価、成績処理に係る事務負担を軽減する。また、教育支援ソフトの活用により、児童生徒の学習状況の把握や授業及び教材準備にかかる時間を削減する。
- ・支援が必要な児童生徒・家庭への対応として、スクールカウンセラーやソーシャルワーカー等の専門機関を積極的に活用し、専門的な知見を有する人材と教育職員が連携・協働した支援体制を構築する。また、不登校児童生徒への対応では、信州型フリースクール等との連携・協働を強化し、効果的な支援を促進する。

(2) 学校における措置の推進

- ・各学校の教育課程における年間総授業時数や週当たり授業時数については、年度当初の計画段階で真に必要な時数となるよう設定する。特に、標準授業時数を大幅に上回って（小4以上は年間で1,086単位時間以上）編成されている場合には、指導体制に見合うものとなるよう見直す。
- ・当初のねらいが形骸化し十分な効果が見込めない活動等の見直し、清掃時間・頻度の見直し、放課後の活動時間の勤務時間内での設定など、日課表の工夫を行う。
- ・クラウドサービスの利用拡大や保護者連絡アプリの利用促進など、デジタル技術活用の更なる充実を図り校務の効率化を推進する。

(3) 教育職員の健康及び福祉の確保に関する取組

- ・1箇月時間外在校等時間が80時間を超えた教育職員と校長が面談を行い、必要に応じて医師による面接指導を実施するなど、教育職員の健康管理に努める。
- ・終業から始業までに11時間を目安とする勤務間インターバル（休息时间）の確保に取り組む。
- ・ストレスチェックの実施率を100%にし、実施後の集団分析の結果等も活用して職場環境の改善を推進する。
- ・心身の健康問題についての相談窓口を周知し、必要に応じて保健指導を受けるよう促す。
- ・年次有給休暇について、まとまった日数を連続して取得できるよう、各学校に対して取得を促進する。
- ・学校における定時退校日を月4回以上設定するよう推進し、長期休業等の期間中は一斉閉校期間を7日以上設定するよう努める。
- ・早出遅出勤務やテレワーク等、柔軟な働き方を実現するための環境整備を検討する。

5 関連する取組、今後のフォローアップについて

- (1) 取組の着実な実行を図るため、村内各学校の教育職員の在校等時間の状況を把握し、毎年度、野沢温泉村のホームページで公表するとともに、定例の教育委員会及び総合教育会議において報告する。
- (2) 時間外在校等時間にかかる目標の達成状況については出退勤システムで把握し、その他の目標については、本村で導入しているストレスチェックの結果から把握する。
- (3) 教育委員会において、各学校の状況を確認し、本計画の内容に照らして課題が見られるときは、当該学校に聞き取り・指導等を実施する。特に、時間外在校等時間が長時間となっている教育職員がいる学校や、業務の持ち帰りや休憩時間の確保が課題となっている学校に対しては、当該年度中にも速やかに状況が改善されることを目指し、当該学校に対する個別の支援・指導を実施する。
- (4) 各学校における働き方改革の取組が進むよう、様々な機会を捉え各学校へ本計画の周知を行うとともに、必要に応じて教育委員会からの指導・助言を行う。また、各学校においては、管理職のリーダーシップのもと、野沢温泉学園運営協議会における協議等も踏まえつつ、本計画に基づき教育職員の働き方改革に向けた取組を実施する。
- (5) 保護者、地域の理解を促進するため、村長部局と連携し、保護者や地域に対して、本村における「業務の3分類」をはじめとする業務量管理・健康確保措置の内容について周知を行うとともに、具体の項目について協力を得られるよう取り組む。